

あなたに はつたつち

リレーエッセー④

音楽は世界の懸け橋



林 美智代さん
(二子)

趣味 読書・音楽

元気で生涯現役のつもりでボランティア活動ができればと願っております。

すべてのものが移ろってゆく三月五日、梅花の香り漂う大阪城ホールで、チベット出身の歌手バイヤ・ヤンジンさんの「コンサー」とお話の公演に参加の機会を得て、深い感銘を受けました。

バイヤさんは、七歳のときよりチベット民謡と舞踊を始め、中国国立四川音楽大学声楽部で、チベット人初の本科生として西洋オペラを専攻し、ニューヨーク国連本部コンサートにも出演され、各地で幅広く活躍された女性に贈られる「きらめき賞」を大阪市より受賞されました。

七年前に来日され、日本人の夫とその両親と同居されて千里にお住まいです。美しい民族衣装をまとい、日本の歌曲を素敵なソプラノで披露された彼女に会場の七千人は魅了されました。

この後、流暢な日本語で、島国日本と高原地帯にあるチベットの文化、風土、生活の違いについて語られました。

チベットでは、厳しい自然と闘いながらの生活だから人間同士はもちろん、命あるものすべてがお互いに助け合い、大切にすることを体染み込んでいると強調されました。

食生活は非常に質素で、魚は食べたことがなく、日本でチリメンジャコが食卓に出た時は、成長する魚を食べるのはかわいそうと思われたそうです。生活習慣では、チベットの子どもたちは両親を大切にすることが当然で、兄弟、友達などとの信義を守るのも当然の事

として、身につけているそうです。日本については、物質文明の爛熟した世相、飽食の時代、生活様式の多様化、信頼関係の希薄化等々の急激な変化に疑問を投げかけられたのには、共感を覚えしました。

人生八十年時代にあやかって、私も還暦を無事、通過しました。昭和一桁生まれの私たちの年代は、戦前、戦後、現代と激変した時代を肌身に感じて生きてきました。

従って、チベットの人たちの生活環境に共感を覚えながら、戦前の質素な暮らし、五、六年生のときは戦争の真っただ中、家庭はサツマイモ畑、干草二貫目の宿題など、振り返れば懐かしい思い出であり、そして現代の夢のような暮らしを体験しています。

最後になりましたが、私は今、生活環境の素晴らしい播磨町の住民であることを誇りに思っております。



わかさぎ会メンバー

仲間たちに支えられて

わかさぎ会代表

市村 芙蓉子さん

四十年前、外国航路で働いていた主人がやっと退職し、これからは二人の人生というときに主人が他界し、三年間落ち込んで立ち上がることもできずいたとき、親友に支えられて舞踊の道に入りました。

盆踊りもろくに踊れない私でしたが、仲間たちに支えられて舞踊の面白さに夢中になり、気付けば多くのサークルに参加し、充実した日々を送っています。

わかさぎ会は、文化の向上と発展に寄与することを目的としており、またその成果を何らかの形で社会奉仕につなげたいということから特別養護老人ホームへの慰問も行っており、今まで淡路や明石、神戸市灘区の方へ出向いています。



充実した毎日を送る市村さん

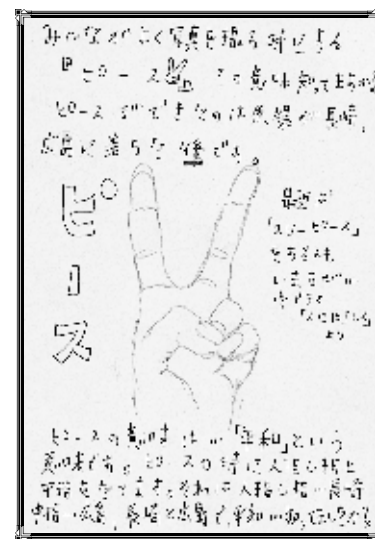
メンバーは一人ひとりの容姿が違いうように、個々に考えや行動についても特徴があり楽しいです。例えば、話を面白おかしく話せる方、物まねが上手い方、歌が上手い方、何事もまともにとって冗談がきかない方などさまざまですが、この個性がうまく混ざり合い楽しいわかさぎ会を構成しているのだと思います。

わかさぎ会練習日
日時 毎月第一、四、五日曜日
午前9時～正午
場所 中央公民館和室



このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画調整課

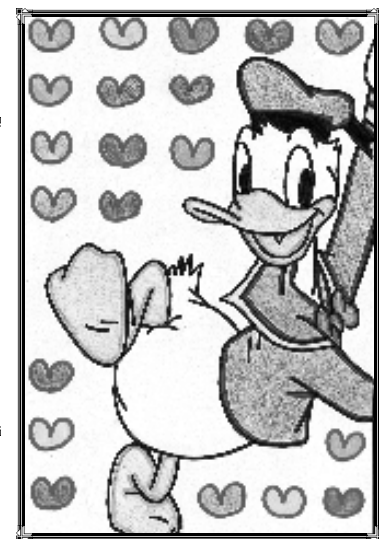
写真・お便りコーナー



P.N. 2年5組のライオン



野村 佳代ちゃん(宮北)



P.N. RAINBOW

心のメッセージや絵、マンガ、詩、写真などを募集しています。八ガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、〒675-0182(個別番号・住所記載不要) 播磨町役場企画調整課まで(掲載させていただいた方には記念品を差し上げますので、匿名希望、ペンネームの方も住所などお書きください)

兵庫五カ国交流会議

兵庫県には古代律令制国家のもので、旧国制の摂津・淡路・但馬・丹波・播磨の国の五カ国が置かれていました。

こうしたことから兵庫県はそれぞれ固有の歴史、文化、風土を有する五つの国から成り立っていると言えます。この旧国名の地域内にある一市四町の「五つの国」が集まり観光・物産や地域の伝統芸能等の紹介などを行い、私たちの住む郷土、兵庫県を知り、広く交流を図りながら、各地域の活性化を推進することを目的に結成されたものです。

淡路の国 津名町

津名町は、淡路島のほぼ東中央部に位置し、東は大阪湾に面し、面積は約五十五平方キロメートル、平成十三年四月現在の人口は、六千九百五十五世帯、人口一万七千三百一十一人で島内の交通の要衝、経済の中心として栄えてきました。

明石海峡大橋の開通により、大阪湾ベイエリアの中でいま最も開発可能性に富んだ地域として脚光を浴びており、世界に開かれた公園島淡路の一翼を担うべく、国際化にふさわしいまち

静の里公園

源義経との悲恋で名高い静御前の霊廟を中心に、昭和六十一年に公園整備され、一億円の金塊をはじめ、高さ十五メートルの相輪の宝塔などがあり、堀にはニシキゴイや白鳥が泳ぎ四季折々の表情を見せ、訪れる人々に安らぎのひとつを与えています。

